

**1 世界から見た日本** 配当時間 全6時間 教科書 P.8～19  
学習時期 4月

**小単元「1世界から見た日本」のねらい**

我が国の国土の様子と国民生活について、世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれた多数の島からなる国土の構成などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べてまとめ、我が国の国土の様子をとらえるとともに、その特色を考え、表現することを通して、世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解することができる。

**小単元「1世界から見た日本」について**

導入では、地球の陸地と海洋の名称と位置を知り、各大陸における主な国や日本の国土について調べる学習問題を設定する。まず、主な国の位置、日本の国土の構成などを、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、我が国の国土の様子やその特色を考え、まとめる。そして、世界の中における我が国の国土の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解する。次に、我が国には北方領土や竹島、尖閣諸島で領土をめぐる問題があることを理解する展開としている。

**小単元の観点別評価規準**

- ▶ **知識・技能** ……我が国の国土の様子と国民生活について、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、適切にまとめ、世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解している。
- ▶ **思考・判断・表現** ……世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれた多数の島からなる国土の構成などに着目して、我が国の国土の様子をとらえるとともに、その特色を考え、調べたことや考えたことを表現している。
- ▶ **主体的に学習に取り組む態度** ……世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、我が国の国土の様子などについて、学習問題を意欲的に追究するとともに、これまでの学習を振り返り、学習したことをたしかめている。

**小単元「1世界から見た日本」の本時のねらいと子どもの学習状況を見取るためのチェックポイント（評価規準）**

二学期制	三学期制	月	小見出し (○数字は配当時間)	学習のねらい	子どもの学習状況を見取るための チェックポイント（評価規準）
前期	1学期	4月	大単元の導入 ①	・宇宙から見た地球の写真を見て、気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、大陸や海洋、日本の国土について調べていこうとする意欲をもつことができる。	<b>【主体的】</b> 宇宙から見た地球の写真を見て話し合うことにより、大陸や海洋の広さ、日本の位置に関心を持ち、意欲的に追究しようとしている。
			地球のすがたを見てみると／地球のすがたを知る ①	・地球のすがたを調べることで、地球には、三大洋、六大陸があることを理解するとともに、世界の国々や日本の国土について、学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てることができる。	<b>【主体的】</b> 世界の国々や日本の国土について、学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てようとしている。
			世界のさまざまな国々 ②	・地球儀や地図帳を使って、主な国の位置と国旗について調べ、緯度や経度、大陸名や海洋名、日本からの方位や距離などを使い、説明することができる。	<b>【知・技】</b> 主な国の位置と国旗、日本との位置関係を調べ、白地図やタブレットにまとめ、説明している。
			日本の位置とはんい ①	・地球儀や地図帳を使って、日本の領土や範囲を調べ、日本の国土の位置と領土、近隣諸国との位置関係について理解することができる。	<b>【知・技】</b> 日本の国土の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成や領土、近隣諸国との位置関係について、理解している。
			領土をめぐる問題 ①	・日本の領土には、解決しなければならない問題があることを理解するとともに、日本の国土の特色について、自分の考えをまとめることができる。	<b>【思・判・表】</b> 海洋に囲まれ、解決しなければならない問題もある我が国の国土の特色を考え、適切に表現している。

## 2 日本の地形や気候

配当時間 全5時間  
学習時期 4～5月  
教科書 P.20～29

### 小単元「2日本の地形や気候」のねらい

我が国の国土の様子と国民生活について、地形や気候に着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べてまとめ、国土の自然などの様子をとらえるとともに、国土の自然環境の特色を考え、表現することを通して、我が国の国土の地形や気候の概要を理解することができる。

### 小単元「2日本の地形や気候」について

四季の変化がはっきりしている日本の気候や日本各地の特色ある地形から、日本の地形や気候についての学習問題を設定し、追究を始める。地形の特色は、地図や写真などをもとにして調べ、山脈や高原、盆地などの地形や火山について理解する。気候の特色は、つゆと台風を調べ、それらがくらしや産業に大きな影響を及ぼすことを理解する。そして、地域による気候の違いを調べ、日本は南北に長く、六つの気候区分があることや、気候の違いは季節風とも関係があること、その影響はわたしたちのくらしにも関わってくることをとらえる構成となっている。

### 小単元「2日本の地形や気候」の本時のねらいと子どもの学習状況を見取るためのチェックポイント（評価規準）

二学期制	三学期制	月	小見出し (○数字は配当時間)	学習のねらい	子どもの学習状況を見取るための チェックポイント（評価規準）
前期	1学期	4月	四季のある日本の気候と地形 ①	・四季の移り変わりや、特色ある地形の写真を調べることにより、様子が違うのは、地形や気候に関わりがあることに気づき、学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てることができる。	<b>【主体的】</b> 日本の地形や気候に関わる疑問を出し合い、学習問題をつくり、学習計画を立てようとしている。
			日本の地形の特色 ①	・日本の地形を地図や写真などで調べ、日本の地形の特色や山脈、高原、盆地などのいろいろな地形、火山の影響などについて理解することができる。	<b>【知・技】</b> 日本は山がちの地形で中部地方に高い山があることや、日本の川は短く流れが急で、大きな川の下流に平野が広がっていることを理解している。
		5月	つゆと台風 ①	・つゆと台風について調べ、それらが人々のくらしに様々な影響を及ぼしていることを考えることができる。	<b>【思・判・表】</b> 四季の変化のほかに、つゆや台風の影響などの日本の気候の特色と人々のくらしを関連づけて考え、表現している。
			地域によってちがう気候 ①	・北海道と沖縄の冬の気温差を示す写真やグラフから、日本の気候を調べ、日本は地域によって気候が違うことを理解することができる。	<b>【知・技】</b> 日本の気候は、気温や降水量の変化をもとに、六つの気候区分に分けられることを理解している。
			季節風とくらし ①	・気候の違いは、季節風も関係していることに気づくとともに、これまでの学習を振り返り、自分の考えをまとめ、話し合うことで、さらに考えを深めたり、新たな疑問を生みだしたりすることができる。	<b>【主体的】</b> これまでの学習を振り返り、自分の考えをまとめ、話し合うことで、さらに考えを深めたり、新たな疑問を生みだしたりしている。

### 小単元の観点別評価規準

- ▶ **知識・技能** ……我が国の国土の様子と国民生活について、地図帳や地球儀、各種の資料で必要なことを調べ、適切にまとめ、我が国の国土の地形や気候の概要を理解している。
- ▶ **思考・判断・表現** ……地形や気候に着目して、国土の地形や気候の様子をとらえ、その特色を考え、調べたことや考えたことを表現している。
- ▶ **主体的に学習に取り組む態度** ……我が国の地形や気候の様子、特色などについて、学習問題を意欲的に追究するとともに、これまでの学習を振り返り、学習したことをたしかめている。

### 3 さまざまな土地の暮らし

配当時間 全10時間  
学習時期 5～6月  
教科書 P.30～49

#### 小単元「3さまざまな土地の暮らし」のねらい

我が国の国土の様子と国民生活について、地形や気候などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べてまとめ、自然条件から見て特色ある地域の人々の生活をとりえるとともに、国土の自然環境の特色やそれらの国民生活との関連を考え、表現することを通して、人々は自然環境に適応して生活していることを理解することができる。

#### 小単元「3さまざまな土地の暮らし」について

導入では、気候や地形に特色のある4地域の写真から、地形や気候がくらしや産業とどのように関係しているのかという学習問題を設定し、追究を始める。気候条件とくらしや産業との関連については、温暖多雨の沖縄県を取り上げ、県の位置、気候の特徴、気候に合わせたくらしや産業などを追究する。地形条件とくらしや産業との関連については、川に囲まれた低地の岐阜県海津市を取り上げ、市の位置、土地の様子と土地に合わせたくらしや産業などを追究する。そして、自然環境の特色やそれらとくらしや産業の関連を比較し、まとめる構成としている。

#### 小単元「3さまざまな土地の暮らし」の本時のねらいと子どもの学習状況を見取るためのチェックポイント（評価規準）

二学期制	三学期制	月	小見出し (○数字は配当時間)	学習のねらい	子どもの学習状況を見取るための チェックポイント（評価規準）
前期	1学期	5月	わたしたちの住む地域と比べて ①	・日本各地の様子と自分の住んでいる地域とを比べ、気候や地形が、そこでのくらしや産業にどのように関係しているのかについて、学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てることができる。	<b>【主体的】</b> 4枚の写真と自分たちの住んでいる地域を比べることなどにより、地形や気候の違いがくらしや産業に関係していることについて、学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てようとしている。
			[1] あたたかい沖縄県に住む人々のくらし 沖縄県の位置と気候 ①	・自分たちが住んでいる地域と沖縄県とを比べることにより、沖縄県は冬が特に暖かく、つゆや台風の影響で降水量が多いことを、地図やグラフなどの資料から読み取ることができる。	<b>【知・技】</b> 地図やグラフ、くらしごよみから、沖縄県の位置や気候の特色、くらしについて、自分たちの住んでいる地域と比較しながら読み取っている。
			気候に合わせてくらし ①	・写真やイラストなどから、台風が多く水不足になりやすいという沖縄県の自然環境と、家づくりの工夫やダムがつけられていることを結びつけて考えることができる。	<b>【思・判・表】</b> 台風や暑さに備えた家のつくりや水不足に対する備えなど、沖縄県の人々が気候に合わせて工夫してくらししていることを考え、表現している。
			あたたかい気候を生かした農業 ①	・沖縄県では、冬に暖かく、台風が多い気候の特色に合った農業がおこなわれていることを理解することができる。	<b>【知・技】</b> 沖縄県では、暖かい気候を生かしたさとうきびやマンゴーなどの栽培がさかんであることを理解している。
			沖縄県のみりよくとは ①	・写真やグラフから、多くの観光客が沖縄県を訪れるわけを考えることで、沖縄県の自然や文化、歴史が沖縄県の魅力になっていることや、それらが観光業と密接な関連があることを考えることができる。	<b>【思・判・表】</b> 自然や気候、文化、歴史などが沖縄県の魅力になっていることや、それらが観光客の多さと密接な関連があることを考え、表現している。

#### 小単元の観点別評価規準

- ▶ **知識・技能** ……我が国の国土の様子と国民生活について、地図帳や地球儀、各種の資料で必要なことを調べ、適切にまとめ、人々は自然環境に適応して生活していることを理解している。
- ▶ **思考・判断・表現** ……地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活をとりえ、国土の自然環境の特色や、それらの国民生活との関連を考え、調べたことや考えたことを表現している。
- ▶ **主体的に学習に取り組む態度** ……様々な土地の暮らしについて、学習問題を意欲的に追究するとともに、これまでの学習を振り返り、学習したことをたしかめている。また、特色ある自然環境のなかで努力や工夫をしてくらししている人々について、国民の一人として、自分の生活と関連づけて考えようとしている。

前期	1学期	5月	[2] 低地に住む岐阜県海津市の人々のくらし 川に囲まれた土地 ①	・岐阜県海津市の輪中地帯について、古くから土地が川より低いことや、人々が州を堤防で囲んだことなどを、写真や地図などの各資料を関連づけて読み取ることができる。	<b>【知・技】</b> 写真や地図などの資料から、どのように輪中ができたのか、輪中が川よりも低い土地であること、人々が州を堤防で囲んだことなどを、各資料を関連づけて読み取っている。
			水害とむき合う人々 ①	・治水工事や水屋の様子を調べることにより、治水工事は、輪中に住む人々の気もちやくらしにどのような影響を与えたのかを考えることができる。	<b>【思・判・表】</b> 治水工事に関する資料や、輪中に住む人々の水害に対する様々な工夫をもとに、治水工事後の人々の気もちやくらしについて考え、表現している。
			輪中での農業 ①	・輪中地帯では、人々の知恵や工夫と、土地の改良工事や排水機場の設置などによって、土地のよさを生かした農業が営まれていることを理解することができる。	<b>【知・技】</b> 輪中地帯では、土地のよさを生かした農業をおこなうために、人々の知恵や工夫によって、様々な課題を解決してきたことを理解している。
		6月	今も続く水害への備え/豊かな自然とともに ①	・水防訓練や水防倉庫の点検、国や県による川の水位の監視など、水害への備えが現在もおこなわれていることや、輪中地帯が水や自然とふれ合う魅力あふれる場所になっていることを理解することができる。	<b>【知・技】</b> 海津市の人々が水害への備えを現在も引き続きおこなっているとともに、輪中地帯が水や自然とふれ合い、楽しめる場所となっていることを理解している。
			気候や地形を生かした人々のくらし ①	・これまでの学習を振り返りながら、気候や地形の特色、くらしや産業の工夫について、沖縄県と岐阜県海津市の二つの地域を比べて、それぞれの特色をシートにまとめ、話し合うことで、自分の考えを深めることができる。	<b>【主体的】</b> 「ふり返しシート」に、くらしや産業の様子を記述し比べることで、予想と違ったことや新たに気づいたことなどを話し合うことにより、さらに考えを深めようとしている。

3 さまざまな土地の暮らし (選択単元)

配当時間 全 10 時間  
 学習時期 5～6月  
 教科書 P.30～31  
 P.50～65  
 P.48～49

小単元「3さまざまな土地の暮らし」のねらい

我が国の国土の様子と国民生活について、地形や気候などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べてまとめ、自然条件から見て特色ある地域の人々の生活をとらえるとともに、国土の自然環境の特色やそれらの国民生活との関連を考え、表現することを通して、人々は自然環境に適応して生活していることを理解することができる。

小単元「3さまざまな土地の暮らし」について (選択単元の場合)

導入では、気候や地形に特色のある4地域の写真から、地形や気候がくらしや産業とどのように関係しているのかという学習問題を設定し、追究を始める。気候条件とくらしや産業との関連については、冬の寒さが厳しい旭川市を取り上げ、市の位置、気候の特徴、気候に合わせたくらしや産業などを追究する。地形条件とくらしや産業との関連については、山に囲まれた高原の嬬恋村を取り上げ、村の位置、土地の様子と土地に合わせたくらしや産業などを追究する。そして、自然環境の特色や、それらとくらしや産業の関連を比較し、まとめる構成としている。

小単元「3さまざまな土地の暮らし」の本時のねらいと子どもの学習状況を見取るためのチェックポイント (評価規準)

二学期制	三学期制	月	小見出し (○数字は配当時間)	学習のねらい	子どもの学習状況を見取るためのチェックポイント (評価規準)
前期	1学期	5月	わたしたちの住む地域と比べて ①	・日本各地の様子と自分の住んでいる地域とを比べ、気候や地形が、そこでくらしや産業にどのように関連しているのかについて、学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てることができる。	<b>【主体的】</b> 4枚の写真と自分たちの住んでいる地域を比べることなどにより、地形や気候の違いがくらしや産業に関係していることについて、学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てようとしている。
			[せんたく] 寒い土地のくらし—北海道旭川市—北海道旭川市の位置と気候 ①	・自分たちが住んでいる地域と北海道旭川市とを比べることにより、旭川市が日本の北に位置していることや、冬は寒さが厳しく降雪量が多いこと、夏は涼しいことを、地図やグラフなどの資料から読み取ることができる。	<b>【知・技】</b> 地図やグラフ、くらしごよみから、北海道旭川市の位置や気候の特色、くらしについて、自分たちの住んでいる地域と比較しながら読み取っている。
			寒さや雪に対応したくらし ①	・イラストや写真などから、旭川市でくらす人々は、気候に合わせて家のつくりを工夫したり、行政や市民が協力して除排雪の対応をしたりしていることを読み取り、理解することができる。	<b>【知・技】</b> イラストや写真などの資料から、旭川市の人々は、気候に合わせて家のつくりを工夫したり、行政や市民が協力して除排雪の対応をしたりしていることを理解している。
			気候を生かした農業 ①	・寒さの厳しい北海道旭川市では、冷涼で昼夜の寒暖差が大きい気候を生かしたそばの栽培や寒さに強い米に品種改良した米作りなど、気候の特色に合わせた農業がおこなわれていることを理解することができる。	<b>【知・技】</b> 北海道旭川市では、冷涼で昼夜の寒暖差が大きい気候を生かしたそばの栽培や米の品種改良をおこなっていることを理解している。
			寒さや雪を生かした観光業 ①	・写真やグラフから、北海道旭川市の冬の厳しい寒さや雪の多さを観光に生かす工夫や努力について考えることができる。	<b>【思・判・表】</b> 冬の厳しい寒さや雪の多さといった自然や気候などが旭川市の魅力になっていることや、それらが観光客の多さと密接な関連があることを考え、表現している。

小単元の観点別評価規準

- ▶ **知識・技能** ……我が国の国土の様子と国民生活について、地図帳や地球儀、各種の資料で必要なことを調べ、適切にまとめ、人々は自然環境に適応して生活していることを理解している。
- ▶ **思考・判断・表現** ……地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活をとらえ、国土の自然環境の特色や、それらの国民生活との関連を考え、調べたことや考えたことを表現している。
- ▶ **主体的に学習に取り組む態度** ……様々な土地の暮らしについて、学習問題を意欲的に追究するとともに、これまでの学習を振り返り、学習したことをたしかめている。また、特色ある自然環境のなかで努力や工夫をしてくらししている人々について、国民の一人として、自分の生活と関連づけて考えている。

前期	1学期	5月	6月	
前期	1学期	[せんたく] 高い土地のくらし—群馬県嬬恋村—嬬恋村の地形や土地利用 ①	・火山によってできた高原の土地では、その気候や地形を生かした取り組みをしていることを知り、高原に住む人々のくらしについて興味、関心をもつことができる。	<b>【主体的】</b> 写真や地図などの資料から、火山によってできた高原の土地では、その気候や地形を生かした農業をしていることを知り、高原に住む人々のくらしについて興味、関心もち、調べようとしている。
		森林を開たくする人々/高原でのキャベツ作り ①	・嬬恋村がキャベツの産地になった理由について、出荷先や土地の開拓などを資料や本などで調べ、広い耕地でキャベツを安定的に大量に作れるように努力してきたことを考えることができる。	<b>【思・判・表】</b> 嬬恋村がキャベツの産地になった理由を、出荷先の確保や土地の開拓などと、キャベツを安定的に大量に作れるよう努力してきたことと関連して考え、表現している。
		気候を生かした出荷 ①	・キャベツ農家が気候を生かした作業手順や工夫をしていることを調べることで、キャベツ農家の生産に関わる努力や工夫を理解することができる。	<b>【知・技】</b> キャベツ農家が気候を生かした作業手順や工夫を調べることで、キャベツ農家の生産に関わる努力や工夫を理解している。
		気候や自然環境を生かした観光業 ①	・なぜ多くの観光客が嬬恋村を訪れているのか調べ、嬬恋村の特色である気候や自然環境を生かした取り組みや工夫を観光業でもおこなっていることを理解することができる。	<b>【知・技】</b> 嬬恋村の特色である気候や自然環境を生かした取り組みや工夫をキャベツ以外の観光業でもおこなっていることを理解している。
		気候や地形を生かした人々のくらし ①	・これまでの学習を振り返りながら、気候や地形の特色、くらしや産業の工夫について、北海道旭川市と群馬県嬬恋村の二つの地域を比べて、それぞれの特色をシートにまとめ、話し合うことで、自分の考えを深めることができる。	<b>【主体的】</b> 「ふり返しシート」に、くらしや産業の様子を記述し比べることで、予想と違ったことや新たに気づいたことなどを話し合うことにより、さらに考えを深めている。

1 食生活を支える食料の産地

配当時間 全4時間  
学習時期 6月 教科書 P.68～75

小単元「1 食生活を支える食料の産地」のねらい

我が国の農業や水産業における食料生産について、生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べてまとめ、食料生産の概要をとらえるとともに、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解することができる。

小単元「1 食生活を支える食料の産地」について

導入では、「産地マップ」づくりや統計資料などから学習問題を設定する。そして、地図やグラフなどの複数の資料を見比べたり、関連づけたりして、「どんな食料が、どこで作られているのか」「農作物の産地の広がりや生産の様子」について調べ、話し合う。さらに、食料の生産額の変化や食料自給率の変化に着目することで、日本の食料生産の概要をとらえ、国民の食生活の変化や今後の食料生産の課題について考え話し合う構成にしている。

小単元「1 食生活を支える食料の産地」の本時のねらいと子どもの学習状況を見取るためのチェックポイント（評価規準）

二学期制	三学期制	月	小見出し (○数字は配当時間)	学習のねらい	子どもの学習状況を見取るための チェックポイント（評価規準）
前期	1 学期	6 月	大単元の導入 ①	・自分たちが、日ごろ食べている給食の食材を手がかりに、食生活と食料生産のつながりについて、調べていこうとする意欲をもつことができる。	<b>【主体的】</b> わたしたちの食生活を支える食料生産に関心を持ち、食料品の産地について意欲的に調べようとしている。
			産地マップをつくってみると ①	・食料の産地を調べ、気になることを出し合うなかで、くらしに必要な大量の食料の産地について、学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てることができる。	<b>【主体的】</b> わたしたちが生きていくうえで必要な食料の産地について、学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てようとしている。
			農作物などの産地の広がり ①	・わたしたちの食生活を支える食料の産地について、地図帳や地球儀、様々な資料を関連づけながら調べ、食料生産は自然条件を生かして営まれていることを理解することができる。	<b>【知・技】</b> 野菜や果物、畜産物を生産する産地は、自然環境と深い関わりを持ち、営まれていることを理解している。
			食料の生産 ①	・農作物の生産の変化や食料自給率の変化などに着目して食料生産の概要をとらえ、国民の食生活の変化や今後の食料生産の問題について考えることができる。	<b>【思・判・表】</b> 食料生産の概要をとらえ、国民の食生活の変化や今後の食料生産の問題について考え、表現している。

小単元の観点別評価規準

- ▶ **知識・技能** ……我が国の食料生産について、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、適切にまとめ、我が国の農業や水産業などの食料生産は、自然条件を生かし営まれていること、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解している。
- ▶ **思考・判断・表現** ……生産物の種類や分布、輸入などの外国との関わりなどに着目して、食料生産の概要をとらえるとともに、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、調べたことや考えたことを表現している。
- ▶ **主体的に学習に取り組む態度** ……食料生産の概要や食料生産が国民生活に果たす役割について、学習問題を意欲的に追究するとともに、これまでの学習を振り返り、自分の考えを深めたり、新たに調べたいことを見出したりしている。

2 米作りのさかんな地域

配当時間 全7時間  
学習時期 6月 教科書 P.76～91

小単元「2米作りのさかんな地域」のねらい

我が国の農業や水産業における食料生産について、米の生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、地図帳や各種資料で調べてまとめ、米の生産に関わる人々の工夫や努力をとらえるとともに、米の生産やそれらに関わる人々が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、米の生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり、輸送方法や販売方法を工夫したりして良質な米を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解することができる。

小単元「2米作りのさかんな地域」について

米を使った料理や製品から、主食である米と自分たちの暮らしには深い関わりがあることに気づく導入から、米の産地調べをする活動を通して学習問題を設定する。そして、日本有数の米作りのさかんな地域である山形県庄内平野を事例に米作りについて追究していく。資料を活用しながらまとめ、なぜ米作りがさかんなのか、また、稲作の作業や工夫などについてとらえられるようにしている。最後に話し合いを通して、自分の考えを深めたり広げたりする展開にしている。

小単元「2米作りのさかんな地域」の本時のねらいと子どもの学習状況を見取るためのチェックポイント（評価規準）

二学期制	三学期制	月	小見出し (○数字は配当時間)	学習のねらい	子どもの学習状況を見取るための チェックポイント（評価規準）
前期	1学期	6月	わたしたちの食生活と米 ①	・米を使った料理や製品について話し合い、我が国の食生活における米の役割について考えることができる。	<b>【思・判・表】</b> 米は、古くから日本各地で作られ、わたしたちの生活と深い関わりがあることを考え、表現している。
			米の生産地はどこ ①	・米の産地を調べることにより、日本の北の方で米がさかんに作られていることから、学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てることができる。	<b>【主体的】</b> 山形県庄内平野での米作りについて、学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てようとしている。
			庄内平野のようす ①	・庄内平野の航空写真や土地利用図、グラフなどを関連づけて読み取り、庄内平野の地形や気候の様子をとらえ、米作りがさかんなわけを考えることができる。	<b>【思・判・表】</b> 庄内平野の地形と気候の様子を資料から読み取り、それらと米作りがさかんなわけについて関連して考え、表現している。
			米作りのようす ①	・五十嵐さんの話や農事ごよみをもとに、庄内平野の米作りの様子について調べ、よい稲を育てるための工夫や努力を理解することができる。	<b>【知・技】</b> 庄内平野の米作りの様子について調べ、よい稲を育てるための工夫や努力を理解している。
			機械化とほ場整備 ①	・庄内平野の農作業の機械化とほ場整備を調べることにより、効率よく大量に米を生産することができるようになったことを考えることができる。	<b>【思・判・表】</b> 農作業の機械化とほ場整備などを調べて、効率よく大量に米を生産することができるようになった理由を考え、表現している。
			米作りを支える人たち ①	・庄内平野では、試験場や農家、JAなどが品種改良や有機栽培などにより、安全でおいしい米を作る取り組みをおこなっていることを理解することができる。	<b>【知・技】</b> 試験場や農家、JAなどが品種改良や有機栽培など、安全でおいしい米を作る取り組みをおこなっていることを理解している。

小単元の観点別評価規準

- ▶ **知識・技能** ……我が国の食料生産について、地図帳や各種資料で調べ、適切にまとめ、我が国の米の生産は、自然条件を生かして営まれていること、米の生産に関わる人々が、生産性や品質を高めるよう努力したり、輸送方法や販売方法を工夫したりして良質な米を消費地に届けようと努力していることなどを理解している。
- ▶ **思考・判断・表現** ……米の生産の分布や生産量、作業工程、技術の向上、輸送、人々の協力関係などに着目して、米の生産の概要と生産に関わる人々の工夫や努力をとらえるとともに、米の生産やそれらに関わる人々が国民生活に果たす役割について考え、調べたことや考えたことを表現している。
- ▶ **主体的に学習に取り組む態度** ……米の生産の概要や生産に関わる人々の工夫、努力などについて、学習問題を意欲的に追究するとともに、これまでの学習を振り返り、自分の考えを深めたり、広げたりしている。

前期	1学期	6月	おいしい米をとどける ①	・消費者の求めに応じ、品質を保ちながらいろいろな方法で輸送・販売していることをとらえると同時に、これまでの学習を振り返り、自分の考えをまとめ、話し合うことで、さらに考えを深めることができる。	<b>【主体的】</b> これまでの学習を振り返り、学習問題について話し合うことにより、さらに考えを深めている。
----	-----	----	--------------	---	--

3 水産業のさかんな地域

配当時間 全7時間  
学習時期 7月  
教科書 P.92～105

小単元「3水産業のさかんな地域」のねらい

我が国の農業や水産業における食料生産について、漁の作業工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、地図帳や各種資料で調べてまとめ、水産業に関わる人々の工夫や努力をとらえるとともに、漁獲やそれに関わる人々が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、水産業に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり、輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な水産物を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解することができる。

小単元「3水産業のさかんな地域」について

はじめに、水産物が自分たちの食生活に欠かせないものであることや、日本周辺の海域が恵まれた漁場であることなどを理解して、学習問題を設定し、追究を始める。

まず、千葉県銚子市の沖合漁業を事例にあげ、まきあみ漁の仕組みや働く人の仕事、流通や販売について調べ、銚子漁港の水あげ量がなぜ多いのかを追究する。また、佐賀県ののりの養殖業を事例にあげ、養殖業の取り組みと課題について調べる活動を展開している。

小単元「3水産業のさかんな地域」の本時のねらいと子どもの学習状況を見取るためのチェックポイント（評価規準）

二学期制	三学期制	月	小見出し (○数字は配当時間)	学習のねらい	子どもの学習状況を見取るための チェックポイント（評価規準）
前期	1学期	7月	わたしたちの食生活と水産物 ①	・日本がまわりを海に囲まれ、よい漁場に恵まれていることから、日ごろから多く消費している水産物についての学習問題をつくり、学習計画を立てることができる。	<b>【主体的】</b> 日ごろ消費している水産物と日本の地形を関連づけて考え、水産物の生産について学習問題をつくり、学習計画を立てようとしている。
			まきあみ漁のようす ①	・銚子市の沖合漁業について調べ、まきあみ漁の様子や漁業の仕事に携わる人々の苦労や努力について理解することができる。	<b>【知・技】</b> 魚の習性を生かしながら、まきあみ漁という方法で魚をとっていることや、水産業が自然条件に左右される仕事であることなど、働く人の工夫や苦労を理解している。
			銚子漁港のようす ①	・写真やグラフなどから、銚子漁港が水あげした大量の魚をすぐに処理・加工できる施設や漁船の補給施設が充実していることと、水あげ量が日本一であることを結びつけて考えることができる。	<b>【思・判・表】</b> 銚子漁港では、魚種ごとに市場が分かれていること、その周辺には水産関連施設が充実していることなど、銚子漁港が水あげ量が日本一であることを関連づけて考え、表現している。
			魚がわたしたちのもとへとどくまで ①	・魚の輸送について調べ、魚が消費者の求めに応じ、品質を保ちながら輸送・販売していることをとらえ、これまでの学習を振り返り、自分の考えをまとめ、話し合うことにより、さらに考えを深めることができる。	<b>【主体的】</b> これまでの学習を振り返り、学習問題について、予想と違ったことや新たに気づいたことなどを話し合うことにより、さらに考えを深めている。
			のりの養殖がさかんな佐賀県 ①	・のりの養殖のさかんな佐賀県の地形の特色について調べ、自然を生かしてのりの養殖をおこなっていることを理解することができる。	<b>【知・技】</b> 地図や写真資料から、佐賀県ののりの養殖は自然の地形や風土を生かしておこなわれていることを理解している。
			有明海での養殖 ①	・のりの養殖の工夫や苦労、品質を高める取り組みや新たな課題について理解することができる。	<b>【知・技】</b> のりの養殖の様子や働く人の話などから、のりを出荷するまでの働く人の工夫や努力、新たな課題について理解している。

小単元の観点別評価規準

- ▶知識・技能 ……我が国の食料生産について、地図帳や各種資料で調べ、適切にまとめ、我が国の水産業は、自然条件を生かして営まれていること、水産業に関わる人々が生産性を高め、新鮮なまま漁獲するよう努力したり、輸送方法などを工夫したりして水産物を消費地に届けようと努力していることなどを理解している。
- ▶思考・判断・表現 ……魚種の分布や主な漁港の水あげ量、漁の作業工程、漁獲技術の向上、輸送、人々の協力関係などに着目して、水産業の生産の概要と生産に関わる人々の工夫や努力をとらえるとともに、漁獲やそれに関わる人々が国民生活に果たす役割について考え、調べたことや考えたことを表現している。
- ▶主体的に学習に取り組む態度 ……水産業の生産の概要と生産に関わる人々の工夫や努力について、学習問題を意欲的に追究するとともに、これまでの学習を振り返り、自分の考えを深めたり、広げたりしている。

前期	1学期	7月	養殖業の問題 ①	・日本各地でおこなわれている養殖業について調べることにより、養殖業がかかえる問題についてとらえるとともに、これまでの学習を振り返り、さらに考えたい問題についての自分の考えをノートにまとめて、考えを深めることができる。	<b>【主体的】</b> 水産業の学習を振り返り、予想と違ったことや新たに気づいたことなどを話し合うことにより、さらに考えを深めている。
----	-----	----	----------	--	--

せんたく 畜産業のさかんな宮崎県（P.106～111）

二学期制	三学期制	月	小見出し	学習のねらい	子どもの学習状況を見取るための チェックポイント（評価規準）
前期	1学期	7月	世界にみとめられた宮崎牛／はんしよく農家の仕事	・世界に認められる宮崎県の畜産に着目して、学習問題をつくり、全国でも有数の産地である肉牛の生産に従事する人々の工夫や努力について意欲的に調べることができる。	<b>【主体的】</b> 世界に認められる宮崎県の畜産に着目して、学習問題をつくり、肉牛の生産をしている人々の工夫や努力について意欲的に調べようとしている。
			肥育農家の仕事／わたしたちのもとへ運ばれるまで	・肥育農家の人の仕事の工夫や努力、また、新鮮で安全・安心な牛肉を消費者に届けるための工夫や努力について理解することができる。	<b>【知・技】</b> 肥育農家の工夫や努力、新鮮で安全で安心な牛肉を消費者に届ける工夫や努力について理解している。
			口蹄疫の被害からの復興／ブランド牛「宮崎牛」と輸出の取り組み	・口蹄疫からの復興の様子や、宮崎牛のブランド力を高めるための宮崎県や農家の人々の工夫や努力について調べ、適切に表現することができる。	<b>【思・判・表】</b> 口蹄疫から復興していく人々の努力や宮崎牛のブランド力を高めていくための県や関係機関の取り組みを関連づけて考え、表現している。

**4 これからの食料生産** 配当時間 全7時間 教科書 P.120～133  
学習時期 9月

**小単元「4これからの食料生産」のねらい**

我が国の農業や水産業における食料生産について、輸入など外国との関わり、食料自給率の変化、生産量や働く人の変化などに着目して、地図帳や各種資料で調べてまとめ、食料生産や食料輸入の概要をとらえるとともに、食料生産をめぐる問題の解決やこれからの食料生産の発展について考え、表現することを通して、食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり、輸送方法や販売方法を工夫したりして、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解することができる。

**小単元「4これからの食料生産」について**

食料生産が国民生活と関連して変化し、食料輸入の現状や食料自給率の低下、日本の食料生産をめぐる問題について調べ、学習問題を設定し、水産物と農産物を安定して生産する新しい取り組みを調べる展開としている。終末では、スマート農業について調べ、今後の農業や水産業の発展について、様々な立場から多角的に考え、自分たちにできることを議論して、自分たちと社会をつなげ、考えを深めていく活動を展開している。

**小単元「4これからの食料生産」の本時のねらいと子どもの学習状況を見取るためのチェックポイント（評価規準）**

二学期制	三学期制	月	小見出し (○数字は配当時間)	学習のねらい	子どもの学習状況を見取るための チェックポイント（評価規準）
前期	2 学期	9 月	食料の輸入先を調べる ①	・主な食料の輸入先と輸入量の地図や食料自給率のグラフなどから、我が国の食料の輸入や食料自給率について調べ、食生活の変化と食料自給率や食料輸入の関連について考えることができる。	<b>【思・判・表】</b> 我が国の食料の輸入状況や食料自給率の変化などを調べ、食生活の変化と食料自給率や食料輸入の関連について考え、表現している。
			日本の食料生産をめぐる問題 ①	・海の変化や安い外国産食品の輸入、食生活の変化や就労人口の減少など、我が国の水産業や農業の生産の様子を調べ、日本の食料生産をめぐる問題についての学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てることができる。	<b>【主体的】</b> 我が国の水産業や農業の生産の様子を調べ、日本の食料生産の問題について学習問題をつくり、学習計画を立てようとしている。
			魚をとりながら保つ取り組み ①	・水産物の資源管理について調べることにより、安定した漁業生産をめざす持続可能な漁業の取り組みや、それに携わる人々の工夫や努力について理解することができる。	<b>【知・技】</b> 漁獲量を維持するための持続可能な漁業の取り組みやそれに関わる人々の工夫や努力、水産物の資源管理について理解している。
			新しい農業技術と6次産業化 ①	・米作りでのICT化や生産・加工・販売を関連づけた「6次産業化」、次世代型ハウスなどの新しい取り組みについて調べることにより、高品質な農作物を無駄なく作ることや付加価値をつけることによって、安定した農業生産をめざしていることを考えることができる。	<b>【思・判・表】</b> 米作りでのICT化や6次産業化、次世代型ハウスの取り組みが、農業の生産性を高め、安定した農業生産につながることを関連づけて考え、適切に表現している。
			国内の食料品のよさを知らせる ①	・産地直売所や日本の農産物の輸出などの取り組みを調べるとともに、これまでの学習を振り返り、自分の考えをまとめ、話し合うことにより、さらに考えを深めようとするができる。	<b>【主体的】</b> これまでの学習を振り返り、日本の食料生産者の新たな取り組みについてまとめ、予想と違ったことや新たに気づいたことなどを話し合うことで、さらに考えを深めようとしている。

**小単元の観点別評価規準**

- ▶ **知識・技能** ……我が国の農業や水産業における食料生産について、地図帳や各種資料で調べ、適切にまとめ、我が国の食料生産は、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや、これからの食料生産について、重大な課題があることを理解している。
- ▶ **思考・判断・表現** ……食料生産や食料輸入、生産量や働く人の変化などの概要をとらえ、食料生産が国民生活に果たす役割を考えるとともに、持続可能な取り組み、6次産業化、地産地消、技術の向上、人材確保などの、食料生産に関わる人々の工夫や努力をとらえ、考えたことを適切に表現している。
- ▶ **主体的に学習に取り組む態度** ……我が国の食料生産や食料輸入などについて、学習問題を意欲的に追究するとともに、これまでの学習を振り返り、学習したことをたしかめている。また、これからの我が国の食料生産のあり方について、生産者と消費者の立場から多角的に考えている。

前期	2 学期	9 月	全国に広がるスマート農業 ①	・これからの食料生産の発展について、ロボット技術や情報通信技術を使った新たな取り組みについて調べ、農作業の省力化や栽培技術の継承、人材確保などよりよい農業経営を進める人々の工夫や努力について理解することができる。	<b>【知・技】</b> 農作業の省力化や栽培技術の継承、人材確保などの課題解決のためのICTを活用したスマート農業の可能性やよさを理解している。
			これからの日本の食料生産のあり方を考えよう ①	・これまで学習したことから、これからの日本の食料生産がよい方向に向かう取り組みについて、生産者と消費者の立場などから多角的に考え、話し合うことで、自分の考えを深めることができる。	<b>【思・判・表】</b> これからの日本の食料生産のあり方や食料消費について、生産者と消費者の立場などから多角的に考え、話し合うことにより、自分の考えを深め、表現している。

1 暮らしや産業を支える工業生産

配当時間 全4時間  
学習時期 9月 教科書 P.136～143

小単元「1暮らしや産業を支える工業生産」のねらい

我が国の工業生産について、工業の種類・工業のさかんな地域の分布・工場生産に関わる人々などに着目して、地図帳や各種の資料で調べてまとめ、工業生産の概要をとらえるとともに、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、我が国では様々な工業生産がおこなわれていることや、国土には工業のさかんな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解することができる。

小単元「1暮らしや産業を支える工業生産」について

日本の工業製品の分類を通して、軽工業、重化学工業などの工業の分類を理解し、わたしたちの暮らしを支えている工業生産がどこで、どのようにおこなわれているかという学習問題を設定している。まず、工場の分布に興味をもち、工業のさかんな地域や生産額の内訳についての地図やグラフを読み取ることで、日本の工業の特色について学習する。さらに、日本の大工場と中小工場の定義を理解し、工場数や生産額の割合などを比較して考え、話し合う活動を通して、自分たちの考えを深め合う活動を展開している。

小単元の観点別評価規準

- ▶知識・技能 ……我が国の工業生産について、地図帳や各種の資料で必要なことを調べ、適切にまとめ、我が国では様々な工業生産がおこなわれていることや、国土には工業のさかんな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解している。
- ▶思考・判断・表現 ……工業の種類、工業のさかんな地域の分布などに着目して、工業生産の概要をとらえるとともに、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、調べたことや考えたことを適切に表現している。
- ▶主体的に学習に取り組む態度 ……我が国の工業生産の概要について、学習問題などの解決に向けて、多角的な思考や理解を通して、意欲的に追究するとともに、これまでの学習を振り返り、学習したことをたしかめている。

小単元「1暮らしや産業を支える工業生産」の本時のねらいと子どもの学習状況を見取るためのチェックポイント（評価規準）

二学期制	三学期制	月	小見出し (○数字は配当時間)	学習のねらい	子どもの学習状況を見取るための チェックポイント（評価規準）
前期	2学期	9月	大単元の導入 ①	・わたしたちの身のまわりには多くの工業製品があることに興味をもち、工業生産とわたしたちの暮らしについて、調べていこうとする意欲を高めることができる。	【主体的】身のまわりにある工業製品を話し合うことにより、工業生産とわたしたちの暮らしに関心をもち、日本でつくられている工業製品や工業の種類について意欲的に調べようとする意欲を高めている。
			いろいろな工業製品 ①	・工業の分類やその違いを調べることにより、わたしたちの暮らしを支える工業生産がどこでどのようにおこなわれているかについて、学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てることができる。	【主体的】日本国内で様々な工業製品がつくられていることに気づき、工業生産がどこでどのようにおこなわれているのかについて学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てようとしている。
			工場の集まる場所 ①	・日本の工業地帯や工業地域で工業が発展してきたことを、地形や人口、交通などの条件と関連づけて理解することができる。	【知・技】工業のさかんな地域が、人口や地形、交通など条件の適した地域に分布していることを理解している。
			大工場と中小工場 ①	・工場の大きさによってどのような違いがあるのか、大工場と中小工場の工場数や生産額などを比較し、日本の工業生産の概要を理解するとともに、これまでの学習を振り返り、考え話し合うことにより、さらに考えを深めることができる。	【思・判・表】大工場と中小工場の違いに関心をもち、日本の工業生産の概要や工業のさかんな地域の特色などを振り返りながら、学習問題について話し合い、考えをまとめている。

## 2 自動車工業のさかんな地域

配当時間 全8時間  
学習時期 10月  
教科書 P.144～159

### 小単元「2自動車工業のさかんな地域」のねらい

我が国の工業生産について、自動車の製造工程や工場相互の協力関係、優れた技術や開発などに着目して、自動車工業に関わる人々の工夫や努力をとらえるとともに、自動車工業に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう工夫や努力をして、自動車工業を支えていることを理解することができる。

### 小単元「2自動車工業のさかんな地域」について

導入では、中京工業地帯では輸送用機械、特に自動車の生産がさかんであることに興味をもつ。そして、自動車工場を見学し、工場の概要や自動車の製造工程、作業の改善に取り組む様子、関連工場との関係、製品の輸送方法や外国での現地生産の様子などをとらえる展開となっている。そして、社会や消費者のニーズや環境に配慮した製品づくりなど、自動車工場の工夫や努力について考えを深める構成である。

### 小単元「2自動車工業のさかんな地域」の本時のねらいと子どもの学習状況を見取るためのチェックポイント（評価規準）

二学期制	三学期制	月	小見出し (○数字は配当時間)	学習のねらい	子どもの学習状況を見取るための チェックポイント（評価規準）
後期	2 学期	10 月	中京工業地帯のようす ①	・中京工業地帯の生産額の多い市町を調べることにより、輸送用機械の生産が多いことに気づき、自動車工場について、学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てることができる。	<b>【主体的】</b> 中京工業地帯の様子を調べることにより、自動車工場や関連工場が多いことから、学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てようとしている。
			自動車工場の見学／自動車ができるまで ①	・自動車工場を見学するにあたり、事前に写真や資料で、自動車ができるまでの作業をたしかめ、調べたいことをまとめて見学の視点をはっきりさせることができる。	<b>【知・技】</b> 自動車工場の写真などをもとに、自動車工場は、広い土地でいくつかの工場に分かれていることや、製造過程では様々な作業があることなど、見学の視点となる内容について読み取っている。
			働く人たちのようす ②	・働く人の様子から、効率的に生産するために、働く人たちは作業内容について見直しをはかり工夫していることや、工場では働く人たちが働きやすいように勤務時間や職場の環境について配慮していることを理解することができる。	<b>【知・技】</b> 働く人たちの話し合いの様子から、作業内容の見直しや工夫をしていること、2交替制の勤務ではラインを停止しないで自動車をつくっていることなどを理解している。
			自動車工場を支える関連工場 ①	・関連工場の様子を調べ、関連工場が効率的な仕組みのもとで、部品を自動車工場へ供給することにより、品質の高い、無駄のない生産が実現していることを考えることができる。	<b>【思・判・表】</b> 関連工場が効率的な仕組みのもとで、部品を自動車工場へ供給することで、品質の高い、無駄のない自動車の生産が実現していることから、自動車工場と関連工場との結びつきを表現している。
			自動車のゆくえ ①	・完成した自動車のゆくえを調べることから、外国との関係に着目し、日本の自動車会社は、自動車を国内で生産するだけでなく、外国にある工場でも生産していることを理解することができる。	<b>【知・技】</b> 日本の自動車会社が外国との関係や費用をおさえるために、自動車の生産を外国で生産し、販売することが増えてきたことを理解している。

### 小単元の観点別評価規準

- ▶ **知識・技能** ……我が国の工業生産について、見学や各種の資料で必要なことを調べ、適切にまとめ、我が国の自動車工業は、消費者の多様な需要にこたえ、環境に配慮しながら優れた製品を生産するために工夫や改善をおこない、国民生活を支える重要な役割を果たしていることを理解している。
- ▶ **思考・判断・表現** ……製造工程、自動車工場と関連工場との相互の協力関係、優れた技術や開発などに着目し、自動車工業に関わる人々の工夫や努力をとらえるとともに、工業生産やそれに関わる人々の国民生活に果たす働きについて調べたことや考えたことを表現している。
- ▶ **主体的に学習に取り組む態度** ……我が国の自動車工業での自動車の製造工程や、新しい自動車の開発について、学習問題を意欲的に追究するとともに、これまでの学習を振り返り、学習したことをたしかめている。

後期	2 学期	10 月	安全で人にやさしい自動車づくり ①	・自動車会社がどのような自動車を開発しようとしているのか調べ、安全で人にやさしい自動車の研究・開発がおこなわれていることを理解することができる。	<b>【知・技】</b> エアバッグや衝突実験など、安全な自動車の研究・開発がおこなわれていることから、すべての人が利用できるよう、人にやさしい自動車の開発がおこなわれていることを理解している。
			環境にやさしい自動車づくり ①	・環境にやさしい自動車づくりについてとらえるとともに、これまでの学習を振り返り、自分の考えをまとめ、話し合うことにより、さらに考えを深めたり、広げたりすることができる。	<b>【主体的】</b> これまでの学習を振り返り、自動車工場の工夫や努力について関係図にまとめ、友だちと話し合う活動を通して、さらに考えを深めたり、広げたりしている。

### 3 運輸と日本の貿易

配当時間 全5時間  
学習時期 10～11月 教科書 P.172～181

#### 小単元「3 運輸と日本の貿易」のねらい

我が国の工業生産について、交通網の広がり、外国との関わりなどに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べてまとめ、貿易や運輸の様子をとらえるとともに、それらの役割を考え、表現することを通して、貿易や運輸は原材料の確保や製品の販売などにおいて、工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解することができる。

#### 小単元「3 運輸と日本の貿易」について

原材料や製品の輸送には、船や自動車、飛行機などが使われ、交通網の広がりや運輸の整備が日本の工業生産を支えていることに気づく。そして、輸出入に関わる資料を読み取り、日本は加工貿易によって発展してきたが、近年外国とのつながりのなかで変化していることを理解する。さらに、貿易摩擦や貿易の自由化など、日本の貿易の課題や解決の仕方について話し合い、フェアトレードの重要性や外国との関係性について考えを深める構成としている。

#### 小単元の観点別評価規準

- ▶ **知識・技能** ……我が国の工業生産について、地図帳や各種の資料で必要なことを調べ、適切にまとめ、貿易や運輸は、原材料の確保や製品の販売などにおいて工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解している。
- ▶ **思考・判断・表現** ……交通網の広がり、外国との関わりなどに着目し、貿易や運輸の様子を調べ、貿易や運輸が国民生活に果たす役割について考えたことを表現している。
- ▶ **主体的に学習に取り組む態度** ……我が国の工業生産をさかんにする取り組みや貿易や運輸の働きなどについて、学習問題を意欲的に追究するとともに、これまでの学習を振り返り、学習したことをたしかめている。

#### 小単元「3 運輸と日本の貿易」の本時のねらいと子どもの学習状況を見取るためのチェックポイント（評価規準）

二学期制	三学期制	月	小見出し (○数字は配当時間)	学習のねらい	子どもの学習状況を見取るための チェックポイント（評価規準）
後 期	2 学 期	10 月	原料や製品を運ぶ ①	・原料や工業製品がどのように運ばれているのかを調べることにより、国内外の運輸や交通網の広がりについて調べ、わたしたちの暮らしを支える運輸の働きに気づくことができる。	<b>【知・技】</b> 日本の工業生産は運輸の働きに支えられていることに気づき、わたしたちの暮らしが交通網の発達と運輸に携わる人の努力に支えられていることを理解している。
			貿易のはたらき ①	・世界の国々との貿易の様子を調べ、日本の工業生産と外国との関わりについて、学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てることができる。	<b>【主体的】</b> 貿易や運輸による日本の工業と世界の国々との結びつきについて、学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てようとしている。
	11 月	日本の輸入の特色 ①	・日本では、工業の原料やエネルギー資源の多くを輸入していることや、その輸入品が以前と比べて変化してきている理由を理解することができる。	<b>【知・技】</b> 日本の工業が、原料やエネルギー資源の多くを海外から輸入していることや、その輸入品が移り変わっている理由を理解している。	
		日本の輸出の特色 ①	・輸出品の変化を調べることにより、これまでの日本の工業は、貿易や運輸に支えられ、加工貿易という形で発達してきたことと、貿易によって世界の国々と結びつきがあることを関連づけて考えることができる。	<b>【思・判・表】</b> 日本の工業は、加工貿易で発達してきたことや、貿易によって世界の国々と結びつきがあることを関連づけて考え、表現している。	
			これからの貿易 ①	・貿易をめぐる様々な問題や貿易の自由化による影響があること、フェアトレードを進める必要があることなどについて調べ、話し合うことで、これからの工業生産や貿易について考えることができる。	<b>【思・判・表】</b> 学習問題について話し合い、これからの工業生産や貿易について考えて、表現している。

4 これからの工業生産

配当時間 全5時間  
学習時期 11月 教科書 P.182～191

小単元「4これからの工業生産」のねらい

我が国の工業生産について、生産量や働く人の変化、優れた技術、工場相互の協力関係、工業製品の改良などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べてまとめ、工業生産に関わる人々の工夫や努力をとらえるとともに、これからの工業の発展を考え、表現することを通して、工業生産に関わる人々は、消費者の願いや社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解することができる。

小単元「4これからの工業生産」について

導入では、工場の数と生産額や働く人などのグラフから、日本の工業の課題について学習問題を設定する。そして、東大阪市の中小工場の高い技術力と中小工場同士のつながりを生かした製品づくりや、働き方改革への取り組みを追究する。さらに、環境問題や高齢化社会による問題などの課題解決や Society5.0 の社会に向けた取り組みなどから、工業製品が国民生活の向上に果たす役割や、今後の工業の発展について考え、持続可能な社会の実現に向けたこれからの日本の工業について、さらに理解を深める活動を展開している。

小単元「4これからの工業生産」の本時のねらいと子どもの学習状況を見取るためのチェックポイント（評価規準）

一学期制	三学期制	月	小見出し (○数字は配当時間)	学習のねらい	子どもの学習状況を見取るための チェックポイント（評価規準）
後期	2 学期	11 月	日本の工業の課題 ①	・グラフや文書資料などを見て、日本の工業の課題についての話し合いを通して学習問題をつくり、予想を出し合い、東大阪市の中小工場の様子を中心に追究していく学習計画を立てることができる。	<b>【主体的】</b> グラフや文章資料から日本の工業の課題について読み取ったことをもとに、学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てようとしている。
			高い技術をもった中小工場 ①	・独自の高い技術力や中小工場同士のつながりを生かした製品づくりなど、より優れた製品をつくりだしていることを理解することができる。	<b>【知・技】</b> 中小工場では、高い技術を生かして生産するだけでなく、互いに協力してより品質の高い製品をつくっていることを理解している。
			働く人のことを考えて ①	・働く環境をよりよくすることのよさについて考えとともに、これまでの学習を振り返り、学習問題について、自分の考えを話し合うことで、さらに考えを深めたり、新たな疑問を生み出したりすることができる。	<b>【思・判・表】</b> 働く環境をよりよくすることについて考えとともに、学習問題について話し合い、さらに深めた考えを表現している。
			社会の変化に合わせた工業製品／これからの社会でか つやくする工業製品 ①	・工業生産に関わる会社や工場が、社会の変化に合わせて、高い技術を生かしながら、新しい工業製品をつくっていることを理解することができる。	<b>【知・技】</b> 工業生産に関わる会社や工場が、環境問題や高齢化社会による問題などの課題解決やこれからの Society5.0 の社会へ向けた変化に対応して、高い技術を生かしたり、AIを活用したりすることで、新しい工業製品をつくりだしていることを理解している。

小単元の観点別評価規準

- ▶ **知識・技能** ……我が国の工業生産について、地図帳や各種の資料で調べ、適切にまとめ、工業生産に関わる人々は、消費者や社会の需要に対応した優れた製品をつくりだすために様々な工夫や努力をしていることや、国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解するとともに、これからの工業生産の発展に向けて取り組んでいることを理解している。
- ▶ **思考・判断・表現** ……中小工場の優れた技術や工場同士のつながり、働きやすい職場づくり、工業製品の改良や新しい分野に挑戦する研究開発などに着目し、工業生産に関わる人々の工夫や努力と消費者の需要や社会の変化を関連づけて工業生産に関わる人々の働きを考え、調べたことや考えたことを表現している。
- ▶ **主体的に学習に取り組む態度** ……我が国の工業生産をさかんにするための新しい技術やそれを生かした工業製品を研究開発などについて、学習問題を意欲的に追究するとともに、学習したことをたしかめている。また、これからの工業生産を発展させるために何が大切か、多角的に考えている。

後期	2 学期	11 月	これからの工業生産のあり方 を考えよう ①	・より豊かで持続可能な社会の実現に向けた近未来への取り組みを調べるとともに、これからの工業生産の発展についての学習を振り返り、自分の考えをまとめ、話し合うことにより、これからの工業の発展についてさらに考えを深めることができる。	<b>【主体的】</b> より豊かで持続可能な社会の実現に向けた近未来への取り組みを調べるとともに、これからの工業生産の発展について話し合い、さらに考えを深めている。
----	---------	---------	--------------------------	---	---

1 情報をつくり、伝える

配当時間 全8時間  
学習時期 11～12月  
教科書 P.194～209

小単元「1 情報をつくり、伝える」のねらい

我が国の産業と情報との関わりについて、情報を集めて発信するまでの工夫や努力などに着目して、聞き取り調査をしたり映像や新聞などの各種資料で調べたりしてまとめ、放送、新聞などの産業の様子をとらえるとともに、それらの産業が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、放送、新聞などの産業が国民生活に大きな影響を及ぼしていることなどを理解することができる。

小単元「1 情報をつくり、伝える」について

導入では、各種メディアの特徴を調べ、信頼度の高さから情報源としての新聞に関心を向ける。  
展開では、学習問題をもとに、新聞が重要度や話題性の高い情報を、取材、選択、編集し、わたしたちにいち早く正確に届けていることを理解する。  
終末では、情報をわたしたちの生活にもっと引き寄せ、情報とどのように関わるべきか、さらに考えたい問題を設定し、子どもの価値判断を問う展開としている。

小単元「1 情報をつくり、伝える」の本時のねらいと子どもの学習状況を見取るためのチェックポイント（評価規準）

二期制	三期制	月	小見出し (○数字は配当時間)	学習のねらい	子どもの学習状況を見取るための チェックポイント（評価規準）
後期	2 学期	11 月	大単元の導入 ①	・くらしのなかにある様々な情報について関心をもち、どのような情報か話し合い、これからの学習への関心・意欲を高めることができる。	<b>【主体的】</b> くらしのなかにある情報について、どのような情報をどのように入手しているのかを意欲的に考えようとしている。
			メディアの特ちょうとは ①	・様々なメディアの特徴やメディアに対する信頼度について調べ、新聞のよさやわたしたちとの関係について考え、表現することができる。	<b>【思・判・表】</b> 新聞のよさやわたしたちとの関係について考え、表現している。
		12 月	新聞の情報 ①	・新聞紙面の構成や記事の内容を調べることを通して、新聞社がどのような紙面づくりをおこなっているのかについて学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てることができる。	<b>【主体的】</b> 社会のできごとやくらしに役立つ情報をたくさん伝えている新聞について、学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てている。
			情報を集める ①	・新聞社では、取材記者が様々な情報を収集し、取材して記事を書いていることを理解することができる。	<b>【知・技】</b> 取材記者が、社会でどのようなできごとが起きているのか情報を集め、取材して記事を書いていることを理解している。
			新聞がわたしたちのもとにとどくまで ①	・新聞ができるまでを調べることで、新聞社が正確な情報を早く読者に届けるために、収集した情報を選択・加工して紙面をつくり、届けていることを理解することができる。	<b>【知・技】</b> 正確な情報を早く読者へ届けるために、多くの人に関わって新聞がつけられていることを理解している。

小単元の観点別評価規準

- ▶ **知識・技能** ……我が国の産業と情報との関わりについて、聞き取り調査や映像、新聞など、各種の資料に必要なことを調べ、適切にまとめ、放送、新聞などの産業が国民生活に大きな影響を及ぼしていることなどを理解している。
- ▶ **思考・判断・表現** ……情報を集めて発信するまでの工夫や努力などに着目して、放送、新聞などの産業の様子をとらえるとともに、それらの産業が国民生活に果たす役割を考え、調べたことや考えたことを表現している。
- ▶ **主体的に学習に取り組む態度** ……情報をつくり伝える仕事について、学習問題を意欲的に追究している。また、情報社会に生きる一員として、情報の送り手と受け手の立場から多角的に考え、受け手として正しく判断することや、送り手として責任をもつことの大切さについて考えている。

後期	2 学期	12 月	情報の伝え方とそのえいきょう ①	・二つの新聞記事を比べることや、捏造記事、報道被害に関する資料を調べることで、新聞社は情報を選択し、意図をもって伝えていること、マスメディアによる情報発信は、社会やわたしたちに大きな影響を及ぼしていることを理解することができる。	<b>【知・技】</b> 新聞社によって記事の大きさや内容が違うこと、発信される情報は、社会に大きな影響を及ぼすことを理解している。
			マスメディアとわたしたちの関わりを考える／メディアの発達と生活の変化 ①	・学習問題について話し合い、伝える情報の正確さや問題点を考えるなかで、自分たちも情報の発信や交流ができることから、さらに考えたい問題をつくり、予想することができる。	<b>【主体的】</b> 情報化が進み、情報の発信や交流がだれにでもできるようになったことから、情報の取り扱いについてさらに考えたい問題をつくり、予想することができる。
			情報社会の問題 ①	・情報社会についての様々な問題から、これからの情報の扱い方について、自分の考えを表現することができる。	<b>【思・判・表】</b> これからインターネットを使う際に情報をどのように取り扱えばよいのか、自分の考えを表現している。

2 情報を生かして発展する産業

配当時間 全6時間  
学習時期 1月 教科書 P.214～223

小单元「2情報を生かして発展する産業」のねらい

我が国の産業と情報との関わりについて、情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、聞き取り調査をしたり、各種資料で調べたりしてまとめ、産業における情報活用の現状をとらえるとともに、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解することができる。

小单元「2情報を生かして発展する産業」について

本单元では、産業における情報活用についての学習問題を設定している。アイスクリームをつくる会社が気象情報を活用する目的と活用方法、気象情報を提供する会社の工夫や努力などを調べ、気象情報を生かすうえで大切なことについて考えられるようにしている。そして、その他の会社や産業での気象情報の活用について、さらに考えたい問題を設定し、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割について考える構成となっている。

小单元「2情報を生かして発展する産業」の本時のねらいと子どもの学習状況を見取るためのチェックポイント（評価規準）

二学期制	三学期制	月	小見出し (○数字は配当時間)	学習のねらい	子どもの学習状況を見取るための チェックポイント（評価規準）
後期	3学期	1月	情報を利用する産業 ①	・情報が様々な産業のなかで大きな役割を果たしていたことやアイスクリームをつくる会社が気象情報を生かして売り上げを伸ばしていることから、気象情報を提供する会社に関心をもつことができる。	<b>【主体的】</b> 様々な産業の情報の活用を振り返り、アイスクリームをつくる会社へ気象情報を提供する会社に関心をもっている。
			気象情報を生かしたサービス ①	・気象情報を提供している会社がどのような情報を入手しているのかを調べることで、産業における情報活用についての学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てることができる。	<b>【主体的】</b> 気象情報を提供する会社の人の話から、情報がくらしだけでなく産業にも影響があることから、気象情報を利用している会社について、学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てようとしている。
			おいしい商品をつくるために ②	・アイスクリームをつくる会社での予測情報の活用の様子について調べたり、考えたりすることを通して、いつもできたての新鮮な商品を届けるために必要な生産量を定める判断材料として予測情報を役だてていることを理解することができる。	<b>【知・技】</b> アイスクリームをつくる会社では、生産量を決めるときの判断材料として予測情報を役だてていることを理解している。
			情報をよりよく生かすために ①	・予測情報を提供する会社の工夫や努力を調べるとともに、アイスクリームをつくる会社が提供された予測情報を活用するうえで大切なことについて考え、表現することができる。	<b>【思・判・表】</b> 正確な情報を提供しようと努力する人と、情報を組み合わせて考え判断する人の話から、予測情報を活用するうえで大切なことについて考え、表現している。
			気象情報を活用する産業 ①	・情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割について話し合い、産業や社会のなかで情報をよりよく生かしていくために大切なことを考え、表現することができる。	<b>【思・判・表】</b> 情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、これからの社会で情報を生かすために大切なことについて、自分の考えをまとめている。

小单元の観点別評価規準

- ▶知識・技能 ……我が国の産業と情報との関わりについて、聞き取り調査や各種の資料で必要なことを調べ、適切にまとめ、大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解している。
- ▶思考・判断・表現 ……情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、産業における情報活用の現状をとらえるとともに、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、調べたことや考えたことを表現している。
- ▶主体的に学習に取り組む ……産業と情報との関わりについて、学習問題を意欲的に追究するとともに、これまでの学習を振り返り、学習したことをたしかめている。また、情報化の伸展に伴う産業の発展や国民生活の向上について、産業と国民の立場から多角的に考えている。

せんたく 情報を生かして発展する観光業（P.224～229）

二学期制	三学期制	月	小見出し	学習のねらい	子どもの学習状況を見取るための チェックポイント（評価規準）
後期	3学期	1月	観光のさかんな京都市	・伝統と歴史の豊かな京都市の観光行政における情報活用について、学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てることができる。	<b>【主体的】</b> 京都市では、外国人観光客の誘致とそれに伴う問題に対して、どのように情報を生かしているのかという学習問題をつくり、学習計画を立てようとしている。
			混雑を防ぐ取り組み	・京都市は観光客の混雑を防ぐために、人気観光スポットの混雑予想や新しい観光スポットの提案などの情報を発信し、効果を上げていることを理解することができる。	<b>【知・技】</b> 京都市では、観光客の混雑を防ぐために、人気観光スポットの混雑予想や新しい観光スポットの提案をするなど、様々な情報を活用し、効果を上げていることを理解している。
			観光協会などの取り組み	・市役所以外の団体や人々が市とともに進めている取り組みを調べ、話し合い、情報を活用した観光産業の発展が国民生活に果たす役割について自分の考えをまとめることができる。	<b>【思・判・表】</b> 情報を活用した観光産業の発展が国民生活に果たす役割を話し合い、調べたことや考えたことを表現している。

せんたく 医療に生かされる情報ネットワーク（P.230～235）

二学期制	三学期制	月	小見出し	学習のねらい	子どもの学習状況を見取るための チェックポイント（評価規準）
後期	3学期	1月	共有される医療情報	・「アザレアネット」という医療情報ネットワークによって医療情報が共有され、病気の治療に生かされていることに関心を持ち、「アザレアネット」について学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てようとしている。	<b>【主体的】</b> 「アザレアネット」によって医療情報が共有され、病気の治療に生かされていることに関心を持ち、「アザレアネット」について学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てようとしている。
			「アザレアネット」ができるまで	・情報ネットワークの伸展により医療情報が共有されたことで、患者の負担が減り、これまで以上のきめ細やかな治療ができるようになったことを理解することができる。	<b>【知・技】</b> 情報ネットワークの伸展により医療情報が共有され、時間やお金などの患者の負担が減り、これまで以上のきめ細やかな治療ができるようになったことを理解している。
			地域をこえてつながる医療情報ネットワーク／医療情報ネットワークと福祉情報ネットワークの共用	・医療情報ネットワークが地域や他の職業とつながるよさについて話し合い、情報化の伸展に伴う医療の発展が国民生活に果たす役割について自分の考えをまとめることができる。	<b>【思・判・表】</b> 医療情報ネットワークが地域や他の職業とつながるよさについて話し合い、情報化の伸展に伴う医療の発展が国民生活に果たす役割について、自分の考えをまとめ表現している。

# 1 自然災害から人々を守る

配当時間 全7時間  
学習時期 1～2月  
教科書 P.238～253

## 小単元「1 自然災害から人々を守る」のねらい

我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について、災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などに着目して、地図帳や各種の資料で調べてまとめ、国土の自然災害の状況をとらえ、自然条件との関連を考え、表現することを通して、自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解することができる。

## 小単元「1 自然災害から人々を守る」について

日本で起きた自然災害に関する資料から、日本では、毎年のように様々な災害が発生していることに気づき、学習問題を設定している。日本が世界的にみても地震が多い国であることや、気候の影響からも自然災害が多いことをとらえ、自然災害が産業に与える影響、そして国や県、自治体の減災に関する施設や情報などを調べていく。さらに岩手県釜石市の取り組みから、自分たちの命や暮らしを守るためにどのようなことが大切か考えていく活動を展開している。

## 小単元「1 自然災害から人々を守る」の本時のねらいと子どもの学習状況を見取るためのチェックポイント（評価規準）

二学期制	三学期制	月	小見出し (○数字は配当時間)	学習のねらい	子どもの学習状況を見取るための チェックポイント（評価規準）
後期	3 学期	1 月	大単元の導入 ①	・日本の急激な工業化や経済発展によって、暮らしの変化や公害の発生がもたらされたことに関心をもち、国土の環境について調べていこうとする意欲をもつことができる。	<b>【主体的】</b> 戦後のくらしや環境に関わる年表を調べることで、くらしが豊かになったものの、様々な環境問題などが起こっていることに関心をもち、自然災害や環境問題、公害など国土の環境について意欲的に調べていこうとしている。
			さまざまな自然災害／地形に関係のある自然災害／気候に関係のある自然災害 ①	・日本で起こっている自然災害を調べることにより、地形や気候と自然災害との関わりについて、学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てることができる。	<b>【主体的】</b> 日本で起きた主な自然災害を調べることにより、地形や気候と自然災害との関わりについて、学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てようとしている。
		自然災害がおきやすい国土 ①	・日本で起こる地震の数の多さや地震や津波が起こる仕組み、日本の降水量などを調べ、日本で自然災害が多い理由を理解することができる。	<b>【知・技】</b> 日本が地震の起きやすい位置にあること、梅雨や台風、大雪などの降水量が多いことなど、自然災害が多い理由を理解している。	
	2 月	産業へのえいきょう ①	・自然災害がもたらす産業への被害について調べ、自然災害によって水産業や農業、工業、運輸業などの産業やわたしたちのくらしに大きな影響が出ることを理解することができる。	<b>【知・技】</b> 自然災害によって水産業や農業、工業、運輸業などの産業やわたしたちのくらしに大きな影響が出ることを理解している。	
		自然災害に備えるために ①	・国や都道府県、市町村などが、自然災害からわたしたちの命や暮らしを守るために、長い時間とたくさんのお金をかけて防災施設をつくり、減災のために努力していることを理解することができる。	<b>【知・技】</b> 国や都道府県・市町村などが、砂防ダムや防潮堤など、自然災害の被害を減らすための防災施設を整備していることを理解している。	

## 小単元の観点別評価規準

- ▶ **知識・技能** ……我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について、地図帳や各種の資料で必要なことを調べ、適切にまとめ、自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解している。
- ▶ **思考・判断・表現** ……災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などに着目し、国土の自然災害の状況をとらえるとともに、国土の環境が自然条件と関連があることや、くらしや産業に密接な関連があることを考え、調べたことや考えたことを表現している。
- ▶ **主体的に学習に取り組む態度** ……我が国で発生した自然災害の状況や防災対策などについて、学習問題を意欲的に追究するとともに、これまでの学習を振り返り、学習したことをたしかめている。また、自然災害から自分の命を守るための備えについて、考えている。

後期	3 学期	2 月	自然災害から命を守る情報 ①	・国や都道府県、市町村などが、自然災害からわたしたちの命や暮らしを守るために各種情報の発信、避難の勧告や指示、ハザードマップの整備などに取り組んでいることを理解し、その活用について考えることができる。	<b>【思・判・表】</b> 各種防災情報、ハザードマップなど、自然災害から命を守る情報をどのように活用していけばよいのか考え、適切に表現している。
			自分たちの命や暮らしを守るために ①	・自然災害による被害を減らすために、自助や共助による備えや「ひなん三原則」などについて調べ、自然災害から自分たちの命や暮らしを守るために、どのようなことが大切かを考えることができる。	<b>【主体的】</b> 自然災害から自分たちの命や暮らしを守るために、どのようなことが大切かを考えようとしている。

## 2 森林とわたしたちの暮らし

配当時間 全6時間  
学習時期 2月 教科書 P.254～265

### 小単元「2森林とわたしたちの暮らし」のねらい

我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について、森林資源の分布や働きなどに着目して、地図帳や各種の資料で調べてまとめ、国土の環境をとらえるとともに、森林が果たす役割や国土保全について考え、表現することを通して、森林は、その育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力により、国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解することができる。

### 小単元「2森林とわたしたちの暮らし」について

わたしたちは、暮らしのなかで木材をたくさん利用していることに気づき、森林を守り育てる仕事について、奈良県川上村を事例に学習する。そのなかで、近年働く人や木材の国内生産量が減少していることから、間伐されていない人工林が増加しており、このままでは森林の働きが弱まってしまいうことに気づかせる。そして、天然林の環境を守る取り組みや人工林の手入れをする大切さをとらえ、わたしたちにできることを考え、話し合うことで考えを深めさせる。

### 小単元「2森林とわたしたちの暮らし」の本時のねらいと子どもの学習状況を見取るためのチェックポイント（評価規準）

二期制	三期制	月	小見出し (○数字は配当時間)	学習のねらい	子どもの学習状況を見取るための チェックポイント（評価規準）
後期	3 学期	2 月	豊かな森林にめぐまれた日本 ①	・日本の森林の様子を調べ、人工林が増えていることについて、学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てることができる。	<b>【主体的】</b> わたしたちの生活は森林と関わりがあることをとらえ、森林には天然林と人工林があることや、人工林が増加してきたことなどから、日本の森林について学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てようとしている。
			森林を育て、守る人々 ①	・写真やグラフなどから、林業に携わる人々の仕事の様子を調べ、苗木から育て、木材として出荷するまでには、長い年月と多くの作業が必要であり、様々な工夫や努力をしていることや、国内の木材生産量や林業従事者数の減少などの林業の課題を理解することができる。	<b>【知・技】</b> 林業に携わる人々の仕事の様子を調べ、木を育てるには、長い年月と多くの作業が必要であることを読み取り、林業に携わる人々の工夫や努力を理解している。
			手入れされなくなった人工林 ①	・間伐をしていない人工林と間伐をしている人工林を比べ、手入れをしない人工林が増えると、野生動物による農業被害の増加や自然災害への不安など、わたしたちの暮らしにも影響が出ることを理解することができる。	<b>【知・技】</b> 手入れをしない人工林が増えることで、わたしたちの暮らしにも影響が出ることを理解している。
			森林が果たす役わり ①	・国土の保全や水源の涵養などの森林の役割について調べ、森林を守ることの大切さと森林を保護する人々の願いを結びつけて考え、表現することができる。	<b>【思・判・表】</b> 森林を守ることの大切さと森林を保護する人々の願いを結びつけて考え、表現している。
			国産木材を使うために ①	・間伐材の利用や、住宅やオフィスでの木材の利用などの、国産木材の利用を進めるための取り組みを調べ、林業の発展や森林の保護のために働く様々な人の工夫や努力を理解することができる。	<b>【知・技】</b> 国産木材の利用を進めるための取り組みを調べ、林業の発展や森林の保護のために働く様々な人の工夫や努力を理解している。

### 小単元の観点別評価規準

- ▶ **知識・技能** ……我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について、地図帳や各種の資料で必要なことを調べ、適切にまとめ、森林は、その育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力により、国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解している。
- ▶ **思考・判断・表現** ……森林資源の働きや林業などに従事する人々などに着目して、国土の環境をとらえるとともに、森林が果たす役割や国土保全について考え、調べたことや考えたことを表現している。
- ▶ **主体的に学習に取り組む態度** ……森林資源の働きや林業などに従事する人々などの取り組みについて、学習問題を意欲的に追究するとともに、これまでの学習を振り返り、学習したことをたしかめている。また、国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えている。

後期	3 学期	2 月	カードにまとめる ①	・これまでの学習を振り返り、自然環境を守るためには国民一人一人の協力が必要であることに気づき、自然を守るために自分たちができることを考え、互いに交流することを通して、考えを深めることができる。	<b>【思・判・表】</b> 人々の願いや努力、多くの人々の協力によって森林が守られていることを振り返り、自然を守るために大切であると思うことや自分にできることを話し合い、より具体的な考えに深め、表現している。
----	---------	--------	------------	--	---

### 3 環境とわたしたちの暮らし

配当時間 全5時間  
学習時期 3月 教科書 P.266～275

#### 小単元「3環境とわたしたちの暮らし」のねらい

我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について、公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目して、聞き取りや各種資料で調べてまとめ、公害防止の取り組みをとらえ、その働きを考え、表現することを通して、関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことを理解するとともに、公害から国土の環境や国民の健康な生活を守ることの大切さを理解することができる。

#### 小単元「3環境とわたしたちの暮らし」について

四日市市で起きた公害の被害の様子を知ることから、学習問題を設定し、公害が起きた原因や四大公害について調べ、その公害の被害をなくし、環境を取り戻すための人々の努力をとらえさせる展開となっている。さらに、取り戻した環境を守るため、公害を語り継ぎ、環境をよりよくしていく多くの人の取り組みにふれ、環境を守るために自分たちに何ができるか考えを深め合う構成となっている。

#### 小単元の観点別評価規準

- ▶ **知識・技能** ……我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について、聞き取り調査や各種資料で必要なことを調べ、適切にまとめ、関係機関や地域の人々の様々な努力により、公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことを理解している。
- ▶ **思考・判断・表現** ……公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目して、公害防止の取り組みをとらえるとともに、環境保全の取り組みが国民生活に果たす働きを考え、調べたことや考えたことを表現している。
- ▶ **主体的に学習に取り組む態度** ……我が国で発生した公害の状況や防止対策などについて、学習問題を意欲的に追究するとともに、これまでの学習を振り返り、学習したことをたしかめている。また、環境を守り、よりよくするために自分たちにできることについて考えている。

#### 小単元「3環境とわたしたちの暮らし」の本時のねらいと子どもの学習状況を見取るためのチェックポイント（評価規準）

二学期制	三学期制	月	小見出し (○数字は配当時間)	学習のねらい	子どもの学習状況を見取るための チェックポイント（評価規準）
後期	3学期	3月	四日市市でおきた公害 ①	・四日市市で起きた公害の様子を調べることにより、被害の大きさと被害をなくす取り組みについて、学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てることができる。	<b>【主体的】</b> 四日市市で起きた公害で、空気のごれ、悪臭、騒音などにより多くの人々が苦しんだこと、今では改善されていることから、学習問題をつくり、予想を出し合い学習計画を立てようとしている。
			公害の原因／日本各地でおきた公害 ①	・工業の発展を重視したこと、公害を防ぐ技術が発達していなかったことなど、公害が発生した理由をつかむとともに、四大公害についてグラフや資料で調べ、国民の健康や生活環境が脅かされていたことを理解することができる。	<b>【知・技】</b> 四大公害の原因についてグラフや資料で調べ、公害によって国民の健康や生活環境が脅かされていたことを理解している。
			立ち上がる人々と公害裁判／きれいな空気を取りもどすために ①	・公害に苦しむ人々の取り組みと関係の諸機関や人々の協力や努力によって環境が改善されていったことを関連づけて考えることができる。	<b>【思・判・表】</b> 公害に苦しむ人々の取り組みと関係の諸機関や人々の協力や努力によって環境が改善されていったことを関連づけて考え、表現している。
			環境先進都市をつくるために ①	・公害を語り継ぐとともに、取り戻した環境を守り、二度と公害を起こさないための四日市市の取り組みを調べることにより、環境保全の重要性や一人一人の協力の大切さを理解することができる。	<b>【知・技】</b> 四日市市では、公害を語り継ぐ取り組みや二度と公害を起こさないための取り組みなどを、市や企業、市民がともにおこなっていることを理解している。
			自分の考えを深めよう ①	・一度破壊された環境を取り戻すためには長い時間と多くの人の努力や協力が必要であることに気づき、環境の未来について自分たちができるところを考えることができる。	<b>【主体的】</b> これまでの学習を振り返り、調べて分かったことや新たに気づいたことなどを話し合うことにより、環境を守るために、自分たちにできることについて考えようとしている。